

専門医認定委員会

委員長：細川 互

担当理事：中塚 貴志

委員：岩澤 幹直、上田 晃一、大慈弥裕之、岡崎 睦、垣淵 正男、
河合 勝也、楠本 健司、櫻井 裕之、佐藤 兼重、清水 祐紀、
館 正弘、田中 克己、橋本 一郎、水野 博司、宮坂 宗男、
宮脇 剛司、四ツ柳高敏

開催年月日：①平成 26 年 11 月 29 日、②平成 27 年 1 月 23～24 日

主な議題：1. 専門医申請者の資格審査
2. 専門医認定審査
3. 審査法の検討

活動の概要：1. 平成 26 年度の専門医申請者 115 人に対し、平成 26 年 11 月 29 日にホテルグランドヒル市ヶ谷にて提出書類に基づく審査を行った。研修期間に不足がないか、規定に則った記載がなされているか、虚偽の記載がないか、などを中心に審査をおこなった。

最終的に書類審査での判定は合格（減点なし）107 名、合格（減点 1）5 名、不合格 3 名となった。

2. 書類審査合格者 112 名に対し、平成 27 年 1 月 23～24 日にホテルニューオータニにて筆記試験および口頭試問による審査を行った。筆記試験問題の一部は問題集から改変して出題した。また、記述式問題を 1 問出題し、総合判定の際の参考資料とした。

筆記試験の結果は、最高点 99 点、平均 89.5 点であった。

3. 合否基準に関しては、書類審査の減点、筆記試験、口頭試問による総合評価とした。審査の最終結果は以下のごとくであった。

専門医審査申請者：115 人

資格（書類）審査不合格者：3 人

筆記・口頭試問不合格者：10 人 欠席者：3 人

専門医試験合格者：99 人

合格率：88.4% (99/112)

なお、欠席の方 1 名は臨月により（産科の主治医からの診断書付き）、欠席されたため、前例にしたがい、次期専門医試験書類審査の免除を承認した。但し、次回の専門医認定審査まで事務局で預かり、差し替えの際は再度専門医書類審査を受験頂くことにし、それを通知した。

4. 以下 1)～3)の通り、手引きに追加することになった。

1) 「入会前の形成外科研修を研修歴に含めることはできません」

手引きには「正会員歴の年限は【入会日～書類提出締切日（2014 年 11 月 10 日）までの期間】で算出して下さい。（入会日は入会申込書提出後、直近の理事会開催日となりますのでご注意ください。）」と記載があるが、専門医制度細則、手引きにも形成外科

研修は入会してからカウントするという文言はない。次回手引きに「入会後から形成外科研修である」ことを明記することにした。

2) 「入会前に掲載された論文は対象外となります」

提出論文が入会前のものを提出している受験者がいたが、前回審査で問題視はされず書類審査を通過している。論文の内容については形成外科的なもので問題はない。次回以降は入会後の論文を提出することを手引きに明記し、受験者にも注意喚起した。

3) 「同時期に複数の施設で研修していたとする研修歴は認められません」

研修歴に重複がある申請者があり、従たる施設の症例を提出したことになるため、重複期間の1症例を除いて判断した。提出された症例のうち、従たる施設と判断された施設で行われた症例はカウントしないことになった。

但し、今後、同一研修期間において複数施設での症例が提出されることを防ぐため、「従たる施設」での症例でなく「主たる施設」での症例のみ提出することを厳守することについて確認がされた。